

令和7年第3回区づくり推進横浜市会議員会議（南区）

令和7年9月5日(金) 午前10時00分
南区役所7階 701～703会議室

1 開会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議題

(1) 令和6年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について

【資料1】・・・P1

(2) 令和7年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

【資料2】・・・P22

(3) 令和8年度 南区個性ある区づくり推進費の予算編成の考え方

について 【資料3】・・・P44

5 その他

6 閉会

区づくり推進横浜市会議員会議運営要領

制 定 平成 6年 5月 25日

最近改正 平成 25年 8月 9日

1 目的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市会議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招集

会議は、市会議長が招集する。

3 構成

会議は、当該区選出の市会議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説明員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- (1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。
- (3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事務等

- (1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- (2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- (3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成16年12月10日より施行する。

附 則

この要領は、平成25年 8月 9日より施行する。

(1) 令和6年度南区個性ある区づくり推進費の実績について

令和6年度 南区個性ある区づくり推進費 決算書

1 自主企画事業費

(単位：円)

重点分野	事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	差引額
賑わいにあふれ、 あつたかさを感じられる まちづくり	魅力発信・賑わいづくり事業	23,898,000	23,898,000	22,610,230	1,287,770
	みなみ桜まつり事業				
	みなみ商店街等活性化事業				
誰もが住み続けたい、 子育てしやすいまちづく り	すこやか子育て支援事業	22,953,000	22,953,000	18,463,134	4,489,866
	保育施設交流・入所サポート事業				
	健やか元気応援事業 他3事業				
安全で安心して暮らせる まちづくり	みなみ減災推進事業	27,875,000	27,875,000	23,702,626	4,172,374
	脱炭素行動普及啓発事業				
	地域で守ろう私の安全安心事業 他2事業				
地域の皆さんとともに歩 む区づくり	区役所運営事業	24,572,000	24,572,000	24,951,565	▲ 379,565
	区民意識調査事業				
	みなみ多文化共生推進事業 他3事業				
合 計 (21事業)		99,298,000	99,298,000	89,727,555	9,570,445

2 統合事務事業費

(単位：円)

事業名	当初予算額	現計予算額	決算額	差引額
統合事務費	30,579,000	30,579,000	29,305,643	1,273,357
統合事業費	17,492,000	17,492,000	15,814,047	1,677,953
広報よこはま南区版発行事業	9,389,000	9,389,000	8,350,007	1,038,993
	1,449,000	1,449,000	1,447,955	1,045
	279,000	279,000	282,557	▲3,557
	286,000	286,000	179,380	106,620
	537,000	537,000	429,448	107,552
	2,075,000	2,075,000	1,853,865	221,135
	2,547,000	2,547,000	2,340,835	206,165
	750,000	750,000	750,000	-
合 計		48,071,000	48,071,000	45,119,690
				2,951,310

3 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

事業名	事 業 内 容	当初予算額	現計予算額	決算額	差引額
区庁舎等	区庁舎・公用車等管理運営費	140,074,000	140,074,000	147,394,208	▲7,320,208
土木事務所	土木事務所管理運営費	4,429,000	4,429,000	5,311,761	▲882,761
公会堂	公会堂管理運営費 ※	44,460,000	44,521,000	44,679,997	▲158,997
地区センター・スポーツ会館	地区センター(4館)、スポーツ会館指定管理者委託料 ※	171,865,000	173,608,000	173,608,000	-
青少年施設	こどもログハウス指定管理者委託料 ※	8,644,000	8,788,000	8,788,000	-
老人福祉センター	老人福祉センター(南寿荘)指定管理者委託料 ※	30,220,000	30,491,000	30,491,000	-
コミュニティハウス	指定管理者委託料(5施設)、区民利用施設運営委託料(2施設) ※	95,704,000	96,570,000	96,570,000	-
スポーツセンター	スポーツセンター指定管理者委託料 ※	41,534,000	42,019,000	42,019,000	-
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費	30,064,000	30,064,000	30,063,344	656
その他施設(広場・遊び場)	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等補助金	838,000	838,000	1,118,624	▲280,624
区庁舎・区民利用施設修繕費	区庁舎、土木事務所、区民利用施設修繕費	2,932,000	2,932,000	5,054,625	▲2,122,625
合 計		570,764,000	574,334,000	585,098,559	▲10,764,559

南区個性ある区づくり推進費 総計	718,133,000	721,703,000	719,945,804	1,757,196
------------------	-------------	-------------	-------------	-----------

※人件費上昇の影響により、区民利用施設の指定管理料について、補正を行いました。



令和6年度 南区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の重点

子育て世代など未来を担う若い世代を支援し、地域でともに活動する仲間を増やしていくながら、高齢者を支えていく等の好循環を創り出すことで、区制80周年で再確認した「あったかい南区」を次世代につなげていきます。

誰もが“つながり”や“あったかさ”を感じられ、ずっと住み続けたいと思える南区をめざし、地域の皆様と連携しながら、次の4つを重点として取組を進めます。

賑わいにあふれ、あったかさを感じられるまちづくり

下町情緒を感じさせる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなど、南区らしさを感じられる魅力資源を広く区内外に発信します。また、自治会町内会をはじめとした地域の皆様と連携しながら、地域の賑わいやつながりをさらに高め、地域経済の活性化を図ります。

- ・魅力発信・賑わいづくり事業【重点事業】
- ・みなみ商店街等活性化事業
- ・みなみ桜まつり事業【重点事業】
- ・区民文化・スポーツ支援事業

誰もが住み続けたい、子育てしやすいまちづくり

南区を子育てしやすいまちにしていくため、子育て支援の相談体制の充実や子どもの居場所づくりを支援するとともに、地域ぐるみで子ども・青少年の健全育成に取り組みます。また、ライフステージに合わせた区民の健康づくりや高齢者の介護予防、障害者支援など様々な取組を進め、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。

- ・すこか子育て支援事業【重点事業】
- ・健やか元気応援事業【重点事業】
- ・地域福祉保健計画等推進事業
- ・保育施設交流・入所サポート事業【重点事業】
- ・高齢者・障害者地域包括ケア推進事業【重点事業】
- ・青少年育成事業

安全で安心して暮らせるまちづくり

脱炭素社会の実現に向け、GREEN × EXPO 2027 開催の機運醸成や一人ひとりの行動変容につながる意識啓発に取り組むとともに、引き続き、市民利用施設のLED化などの取組を推進します。また、自らの身を守る自助力や地域の防災力を高めるための啓発事業を実施するとともに、災害時要援護者への支援や平常時からの見守り等を地域の皆様と進めるほか、交通安全や防犯対策にも地域と協働で取り組みます。

- ・みなみ減災推進事業【重点事業】
- ・地域で守ろう私の安全安心事業
- ・食と暮らしの衛生支援事業
- ・脱炭素行動普及啓発事業【重点事業】
- ・みなみチャレンジごみ減量事業

地域の皆さんとともに歩む区づくり

各種広報媒体を通じて区の様々な情報の発信や区民ニーズの把握を積極的に行うとともに、地域活動に携わる人材の発掘・育成等に取り組みます。また、外国籍住民等との相互理解を深める取組などを通じて、多文化共生のまちづくりを進めます。

- ・区役所運営事業
- ・みなみ多文化共生推進事業【重点事業】
- ・自治会町内会支援事業
- ・区民意識調査事業
- ・地域の力応援事業【重点事業】
- ・広報事業

令和6年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行実績

新規

令和6年度新規事業

拡充

予算を拡充した主な事業

I 賑わいにあふれ、あつたかさを感じられるまちづくり

1 魅力発信・賑わいづくり事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	7,545,000	6,574,178	970,822

「みなみやげ」等既存コンテンツの拡充や、南区らしさを幅広く伝えるポータルサイトの立ち上げ等により、南区のファンを増やし、地域への興味・愛着を向上させ、定住促進につながる取組を実施しました。

(1) 愛着向上事業 拡充

- 小学生向け出前講座（さくら学習）等、地域の人が魅力を身近に感じられる取組を実施しました。

(2) 魅力発掘事業 新規

- 区民がおすすめするお土産として平成27年に認定した「みなみやげ」の追加認定（3月）を行うほか、令和4年度に認定した「みなみのおすすメシ」のPRを進めました。（「みなみやげ」募集期間：6/20～11/30）
- 南区のマスコットキャラクターみなっちをより広く活用してもらえるよう、新たな啓発ツールの作成等を行いました。

(3) 魅力発信事業 拡充

- 民間事業者と連携したPRや公共交通機関での動画放映等により区の魅力を発信し、区外からの誘客促進につなげました。（2～3月）
- さくら、商店街、歴史ある神社仏閣等、南区らしさを幅広く伝えるポータルサイトを新たに立ち上げました。（2月）新規

主な増減理由

- 魅力発信事業における、ガイドマップ作成及び配架場所数の見直しに伴う委託料の残【64万1千円】
- 魅力発信事業における、PR動画配信に伴う広告料の残【43万8千円】

2 みなみ桜まつり事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	10,700,000	10,700,000	0

まつりの開催を通じて、区民相互の交流・地域のふれあいや賑わいを促進し、南区への愛着が湧く地域づくり及び区づくりを推進しました。

(1) みなみ桜まつり事業

- 南区の様々な魅力を知るきっかけとなるよう、区民、関係団体など多くの方が参加できるまつりを実施しました。
- 桜のライトアップを大岡川プロムナード（3/21～4/6）、イベントを蒔田公園（3/22、3/23）で実施し、蒔田公園は来場者が約39,000人でした。
- 各種展示等で脱炭素社会の実現に向けて区民の理解が深まるような啓発を行い、夜の絵どうろうは公用車（電気自動車）の電気で点灯し、脱炭素社会実現のPRを行いました。

3 みなみ商店街等活性化事業	予算額	決算額	差引額
	2,700,000	2,519,804	180,196

地域のふれあいや賑わいを創出する魅力ある商店街づくりを支援することで、地域及び商店街の活性化を図りました。

(1) 商店街活性化イベント補助事業

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

(2) 商店街等活性化支援事業

- ・区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、区内の商店街をより広く周知する場として、南なんデーと同時開催の「商店街朝市」（10/6・大岡健康プラザ）及び「商店街フェスタ」（2/7・市庁舎アトリウム）を南区商店街連合会と連携して開催しました。
- ・商店街PRビデオの放映及び各商店街が制作しているパンフレットについて各所での配架を行い、市民や来訪者などに広く目に留まるようPRを行いました。
- ・区内の商店街と名所旧跡やおすすめスポット等を絵地図で紹介するマップを制作しました。
(阪東橋、南太田、吉野町エリア・日本語版・1,000部)

主な増減理由	・商店街等活性化支援事業における、作成予定としていたチラシを「南なんデー」との共同チラシにしたことに伴う印刷製本費の残【10万円】
--------	-------------------------------------------------------------------

4 区民文化・スポーツ支援事業	予算額	決算額	差引額
	2,953,000	2,816,248	136,752

区民が主体的に行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、「あったかみなみ」活動支援補助金にて幅広い分野で活動をする団体を支援しました。また、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供しました。

スポーツに関しては、区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援しました。

(1) 南区文化祭支援事業

- ・南区文化祭みんなの合唱祭、区民ステージ、フラ★フェスタ、区民創作作品展を開催し、区民の文化活動を支援しました。（11/2～4・みんな（南公会堂）及び区役所・延べ1,785人）

(2) 「あったかみなみ」活動支援事業 拡充

- ・区民が自主的・主体的に企画、実施する公益的事業に対して補助金を交付しました。補助対象を従来の「文化活動」と「まちの賑わい創出」に加え、「国際交流」、「環境保全」等の幅広い分野に拡充することで、更なる地域の活性化及び賑わいのあるまちづくりを目指しました。
 - 交付団体数：事業支援コース 4団体、スタートアップコース 0団体
 - 補助上限額：事業支援コース 30万円、スタートアップコース 10万円
 - 補助率：事業支援コース 1年目10分の7、2年目10分の6、3年目10分の5

(3) 南区読書活動推進事業

- ・読書感想画コンクール作品展示（12～1月・区役所及び南図書館・区内小学校18校111作品）、朗読とピアノのコンサート（12/15・みんな（南公会堂）・250人）の実施、読書マップの配布など、小中学校と連携し、区民が読書に興味・関心を持つきっかけとなる取組を実施しました。

(4) スポーツ協会支援事業

- ・南区スポーツ協会主催の地域貢献事業（みなっちランニングフェスタ（12/8・大岡公園・288人）、みなっちスポーツフェスタ（2/11・スポーツセンター・429人）に補助金を交付しました。また、東京2020オリンピック・パラリンピックレガシーとして、引き続きボッチャの普及等を推進しました。

(5) 区民体力づくり事業

- ・区民の体力づくりを目的とし、アップダウンを含む10km以上のトレイルウォーキングを実施しました。（11/3・清水ヶ丘公園方面等・121人）

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「あったかみなみ」活動支援事業における、補助金交付額が少なかったことに伴う補助金の残【10万1千円】
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

II 誰もが住み続けたい、子育てしやすいまちづくり

1 すこやか子育て支援事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	4,893,000	4,360,257	532,743

養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化しました。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止しました。

(1) 赤ちゃん学級

- ・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内12会場で教室を開催しました。(延べ1,877人)

(2) 土曜両親教室 拡充

- ・両親教室(平日開催)に参加が困難な妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催しました。参加できる定員の枠を10組から15組へ増やして実施しました。(6月、9月、12月、3月・55組93人)

(3) 子どもの居場所づくり事業

- ・企画委員会、交流会等を通じて、アドバイザーの助言を得ながら、子どもの居場所の活動を支援しました。また、子どもの居場所マップの配布(14,500部)や居場所の活動団体のポスター掲示を通して、子どもの居場所を地域に広く周知することで必要なつながりを支援しました。

(4) 児童虐待予防事業

- ・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対し心理職による個別相談を行いました。
- ・児童虐待予防のため、地域で子どもや養育者を見守れるよう啓発物品の配布等を行いました。

(5) 障害児地域交流活動推進事業

- ・障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児支援運営委員会」に補助金を交付しました。

(6) 子育て情報提供事業

- ・子育てに関する地域の子育て支援情報や相談窓口をまとめた「子育て応援マップ」を作成し、母子手帳交付時や関係機関などに配布しました。(7,500部)
- ・個別支援を効果的に実施するため、窓口等でタブレット端末も活用した相談支援を行い、妊娠期から切れ目のない育児支援を行いました。

(7) 親子あんしん窓口事業 拡充

- ・令和5年に課内待合スペースに整備したキッズスペースにおいて、窓口が混雑する時期に見守りスタッフによる乳幼児の見守りを拡大して実施しました。前年度に実施した8月に加え、10月と3月にも実施しました。

主な増減理由

- ・障害児地域交流活動推進事業における、イベントへの参加希望者減に伴う補助金の残【25万8千円】
- ・子どもの居場所づくり事業において、アドバイザー委託の中で主任児童委員に対する研修を実施したことに伴う報償費の残【6万円】

2 保育施設交流・入所サポート事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	1,620,000	887,067	732,933

地域と保育・教育施設同士の交流を通じて、園児の健全な育成を図りました。また、子ども連れでの来庁の負担軽減と利便性向上のため、保育に関するオンライン相談を実施しました。

(1) 保育園応援隊

- 保育園児の健全な育成を図るとともに、地域へ貢献し連携を深めるため、地域の方々と保育園児が一緒に花苗の手入れや公園清掃などのボランティア活動を行いました。（50回・3園・125人）

(2) みなっち杯えきでん交流事業

- 区内の認可保育園の園児及び保育士同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、区内5つのエリアでそれぞれ、えきでんやゲームなどの交流行事を開催しました。（11月・区内5公園・34園・464人）

(3) みんなでおどろう南区音頭

- 区制80周年に合わせて作成した、南区音頭の踊り方説明用DVDや法被等を活用し、各園で年長児を中心に南区音頭を踊ることで、区内の幼稚園及び保育園間の交流を促進し、地域への愛着を深めました。（12園・181人）

(4) 子育てオンライン相談事業 拡充

- 令和5年度に導入した保育・教育コンシェルジュによる保育所入所等のオンライン相談の環境を整え、利用できる相談の枠（30分程度）を1枠から最大2枠に増やし利便性の向上を図りました。

(5) 子育て支援講演会 新規

- 親子で過ごす時間の大切さ、キンシップと信頼関係などをテーマに、ふれあい遊びの実演を交えた講演を実施しました。（9/28・大岡地区センター・24組49人）

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> みなっち杯えきでん交流事業における、全体開催からエリア別開催にしたこと でバス借上げを実施しなかったことに伴う賃借料の残【31万5千円】 みんなでおどろう南区音頭における、運営に要する消耗品の在庫活用に伴う 消耗品費の残【24万】 子育てオンライン相談事業における、チラシの在庫活用に伴う印刷製本費の残 【10万円】
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 健やか元気応援事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	5,895,000	4,996,023	898,977

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援しました。

(1) 健康づくり推進事業 拡充

働き・子育て世代は、出産・子育て・仕事上の役割の変化等様々な節目の年代で、自らの健康を意識することが少ないため、将来を見据えて若いうちから健康への意識を高めることをねらいとして、事業を実施しました。

- ・区民が日常的に立ち寄る場所に掲示する歯の健康啓発ステッカーを作成しました。（2,500枚）
- ・日常生活で立ち寄る施設等にて、健康相談・啓発事業・健康情報の発信を行いました。（3施設・1,077人）
- ・若い世代の関心の高い内容を取り口にした健康な生活習慣につながるセミナー・イベント等を開催しました。（10/6・93人・南なんデーで実施）
- ・保健活動推進員、食生活等改善推進員など地域の健康づくりの推進役と連携し、血管年齢等の測定会の実施や健康情報の発信を行いました。（5/29・80人・世界禁煙デー、6/19・102人・食育の日、10/6・118人・南なんデーで実施）
- ・乳幼児健診等の機会を活用し、食事・歯の健康・がん検診受診勧奨を行いました。（53回・2,579人）

(2) 国民健康保険特定健診受診率向上事業

- ・特定健診の受診率向上を目指し、区局で役割分担して取り組み、健康福祉局では既加入者に対してハガキ、SMSを利用した個別受診勧奨を実施しました。
- ・南区では、独自に受診啓発用物品を作成し、国民健康保険への切替手続時に、窓口での受診勧奨に重点的に取り組みました。

(3) 自殺対策事業

- ・悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つなぎ」ができるゲートキーパーの普及啓発及び養成を目的に、区民や地域の支援者及び関係団体を対象とした講演会（12/16・みんなん（南公会堂）・141人）や研修を実施しました。
- ・南区職員全員がゲートキーパーであることを目標に、転入職員向けにゲートキーパー研修（4月・83人）を実施するとともに、専門職向けに実践研修（11月・38人）を実施しました。
- ・自殺対策強化月間を中心に、鉄道事業者や関係団体等と連携してポスター掲出、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施しました。（9月、3月）

(4) いきいきふれあい南なんデー

- ・健康と福祉をテーマにした講演会や健康相談、体験型のブースや事業PRなどを通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図りました。（10/6・大岡健康プラザ・延べ6,320人）

主な増減理由	・健康づくり推進事業における、健康啓発の媒体等の変更に伴う委託料の残 【71万1千円】
--------	------------------------------------------------

4 高齢者・障害者地域包括ケア推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	5,342,000	4,450,924	891,076

高齢者や障害者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、高齢者の介護予防や認知症対策などに取り組むとともに、障害者の地域生活支援や、権利擁護・障害者理解の啓発等、様々な施策を進めました。

(1) 介護予防事業

- ・介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かいご予防サポーター」の養成と活動支援を行いました。（5～6月・全5回・区役所・22人参加）養成講座には先輩サポーター14人も支援協力のため参加し、サポーター自身の振り返りの機会となりました。
- ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施（7/3・区役所・2回・57人、10/31・区役所・2回・50人、地域ケアプラザ等・20回・281人）するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施しました。
- ・認知症の早期発見早期診断に繋げるきっかけとするため、タッチパネルによる認知症もの忘れ相談プログラムを実施しました。（10/31・区役所・「お元気で21健診」で実施）

(2) 高齢者等地域ささえ推進事業

- ・民生委員等による高齢者等への定期訪問活動を支援するため、16地区にある高齢者等定期訪問事業連絡会に対し補助金を交付しました。

(3) 認知症対策事業

ア 認知症に関する理解促進・関係機関との連携強化

- ・認知症の理解促進を目的に、区民向け講演会を実施しました。（10/25・みなみん（南公会堂）・157人）
- ・身近な場所でパネル展示と関連図書紹介を実施（9/17～30・南図書館）するとともに、南区版オレンジリングや認知症普及啓発のリーフレットを作成し、様々な機会で認知症の普及啓発を実施しました。
- ・認知症キャラバン・メイト支援のための講座等を開催しました。（6月・区役所・32人）
- ・南区医師会の協力を得て、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討するため、認知症サポート医や認知症初期集中支援チームを中心とした関係機関とのネットワークを構築しました。

イ 見守り体制支援

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関（区、警察署、地域包括支援センター）や協力機関（公共交通機関）と運用しました。
- ・あんしんネットワーク連絡会を開催し、認知症に関する知識や協賛、協力機関の課題を共有及び支援体制の強化を図り、地域の見守り・早期発見体制（ネットワーク）の向上に取り組みました。

(4) 権利擁護推進事業

- ・高齢者の方や障害のある方が安心して生活ができるよう、成年後見制度の理解と終活に関する普及啓發を目的とした「講演会」を開催しました。（10/1・区役所・2回・95人）
- ・令和5年度に作成した成年後見制度の必要性を本人に分かりやすく説明するリーフレット等を活用し、制度を対象者や関係機関等に広く周知しました。

(5) 障害者の地域生活支援事業

拡充

- ・障害者の定期的な運動の機会の確保と健康づくりのために、区内の福祉保健サービス事業所の利用者を対象に「障害者のためのけんこう講座」を行いました。（15回・延べ237人）また、講座を終了した事業所に対して、自主的な取組が継続されるように、フォローアップを行いました。（6事業所81人）
- ・区内福祉保健サービス事業所を対象に、障害者の運動の機会や健康づくりについて、現状の調査・分析をしました。
- ・障害児・者の支援機関や当事者団体と連携し、講演会（12/14・みなみん（南公会堂）・142人）、作品展示販売会（12/14・区役所）などの障害者理解普及啓発を行いました。
- ・障害に関する相談支援機能の充実を目的として、障害児・者の相談支援を行う事業所を対象としてスキルアップの研修に取り組みました。（1月・区役所・28人、3月・区役所・20人）
- ・地域精神保健家族会の活動を充実を図るため、アドバイザーによる支援を行いました。（7月・12人、11月・10人）

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none">・権利擁護推進事業における、リーフレットの在庫活用に伴う印刷製本費の残【28万円】・権利擁護推進事業における、講演会開催を局予算で執行したことに伴う報償費及び広告料の残【13万7千円】・介護予防事業における、機器レンタル回数減に伴う賃借料の残【13万2千円】
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 地域福祉保健計画等推進事業	予算額 3,800,000	決算額 2,506,723	差引額 1,293,277
-----------------	------------------	------------------	------------------

第4期南区地域福祉保健計画（令和3年度～7年度）を推進するため、広報、関係機関の連携強化、地域活動団体への支援等に取り組みました。また、第5期南区地域福祉保健計画（令和8年度～12年度）の素案を作成しました。

（1）南区地域福祉保健計画推進事業 拡充

ア 南区地域福祉保健計画推進事業

- ・地域ケアプラザ等の取組や、地域活動団体の好事例を共有することで、第4期計画を推進しました。
- ・令和5年度に作成したリーフレット「福祉と保健の困りごと対応帳」の活用を促進しました。
- ・関係機関による策定プロジェクト会議及び関係団体へのヒアリング等を実施し、第5期計画素案を作成しました。

イ 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業

- ・第4期計画の推進状況等について、南区の保健・医療・福祉等の関係者や団体と意見交換を行う懇談会を開催しました。（3月）

ウ 地区别別計画応援事業

- ・地区社会福祉協議会に、地区別計画に位置付けられた事業に対する補助金を交付しました。（14地区）

主な増減理由

- ・南区地域福祉保健計画推進事業における、関係団体へのヒアリングを職員が実施したことによる委託料の残【180万円】
- ・南区地域福祉保健計画推進事業における、地域情報誌の仕様変更に伴う広告料の増【▲26万7千円】
- ・南区地域福祉保健計画推進事業における、啓発物品の作成等に伴う消耗品費の増【▲16万5千円】

6 青少年育成事業

予算額

1,403,000

決算額

1,262,140

差引額

140,860

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付しました。

（1）青少年活動補助金

- ・ふれあいキャンプ事業を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、異年齢児間交流を図りました。（7月・御殿場ほか・138人）
- ・青少年の考え方や思いを作文にして発表するボイス・オブ・ユース（青少年の主張）事業を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、青少年の健全育成を図りました。（12月・みんな（南公会堂）・来場者数450人・作品応募数1,552編）
- ・区民少年野球大会を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ補助金を交付しました。（5～7月・区内小中学校校庭及び清水ヶ丘公園多目的広場等・23チーム）

（2）青少年ボランティア地域交流事業 拡充

- ・青少年の健全育成及び地域との交流促進を目的に、ボランティアを希望する中学生を公募し、夏休み中に放課後児童育成事業所で活動での受入を行いました。令和6年度は定員を40人から60人に拡大しました。（22事業所・62人）

主な増減理由

- ・青少年ボランティア地域交流事業における、講師謝金が不要になったことに伴う報償費の残【4万8千円】
- ・青少年ボランティア地域交流事業における、チラシ等の契約実績に伴う印刷製本費の残【4万円】

III 安全で安心して暮らせるまちづくり

1 みなみ減災推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	12,582,000	11,734,192	847,808

災害時、自らの身を守るために「自助」意識向上、地域で共に助け合う「共助」、災害対応力の向上のための「公助」に取り組みました。

【自助】

(1) 防災啓発事業

- ・区民の自助・共助意識向上のため、防災フェスタを実施しました。（11/24・清水ヶ丘公園）
- ・自治会町内会や若年層を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発しました。（31回・2,646人）
- ・若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援しました。（8/23、25・180人）

(2) 減災対策支援事業

- ・家具転倒防止器具（6～1月）、ガラス飛散防止フィルム（6～11月）、感震ブレーカー（6～1月 ※自治会町内会向けは12月まで）の設置費用の一部を助成し、区民の自助対策を支援しました。

ア 家具 ・・・件 数：20件
補助率：重点対策地域及び対策地域※ 10分の9
一般地域 3分の2
※「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」による
重点対策地域及び対策地域

イ ガラス ・・・件 数：6件
補助率：3分の2

ウ 感震ブレーカー ・・・件 数：区内全域の自治会町内会向け124件
(自治会町内会向け) 補助率：5分の2（危機管理室の補助（2分の1）に上乗せし、
合計で10分の9補助）

エ 感震ブレーカー ・・・件 数：重点対策地域及び対策地域の個人向け6件
(個人向け) 補助率：5分の2（危機管理室の補助（2分の1）に上乗せし、
合計で10分の9補助）

- ・防災ガイドを増刷しました。（9,000部）

【共助】

(3) 災害時要援護者支援事業 拡充

- ・区保有の要援護者名簿及び区域の住宅地図を自治会町内会に提供し、要援護者への声掛け、訪問活動等の見える関係づくりに向けた取組を支援しました。（1月）
- ・要援護者名簿の受領により要援護者支援の取組を進める自治会町内会に対して、活動支援物品の支給等を行いました。（1月）
- ・地域で行われている災害時要援護者支援の取組事例をまとめたリーフレット及び訪問用チラシを作成しました。（1月）

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄等の物品を購入しました。
- ・風水害時に開設する避難場所用に、食料を備蓄しました。
- ・風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難指示対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持しました。
- ・拠点動員職員が、活動時に携帯するリュックを購入しました。

(5) 地域防災拠点運営強化事業

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検・修理（6～9月）を行いました。
- ・地域防災拠点の運営や訓練の充実が図れるよう、資機材取扱研修「災害時トイレの重要性」（2月・32人）を実施しました。
- ・防災倉庫のソーラー照明の経年劣化に伴い、LEDランタンに切り替えました。

(6) 災害医療体制強化事業

- ・南区医療救護隊訓練（10月）、南区災害医療連絡会議（11月）を開催しました。
- ・医療救護隊の使用する物品を整備しました。
- ・南区の災害時の医療体制（緊急度・重症度に応じた受診先の分類等）について、区民向け広報・周知を行いました（12月・2月）。

主な増減理由

- ・減災対策支援事業における、家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカー設置補助の申請数減に伴う補助金の残【98万1千円】

2 脱炭素行動普及啓発事業	予算額	決算額	差引額
	3,100,000	2,388,941	711,059

GREEN×EXPO 2027の機運醸成、小学校等での普及啓発、緑に触れる機会の創出など、脱炭素への区民の関心を高め行動変容を促す取組を進めました。また、区民利用施設における照明のLED化を進めました。

(1) 脱炭素行動P R事業 拡充

- ・GREEN×EXPO 2027の機運醸成のため、区民に向けたP Rグッズの作成やイベント等へのブース出展を行いました。
- ・楽しみながら脱炭素行動を学べるボードゲームを用いて放課後キッズクラブで出前講座を行うとともに、ゲームで学習する内容を中心としたクイズ大会を実施しました。 (8~12月・3か所・76人)

新規

(2) 緑化推進事業 拡充

- ・より多くの区民が緑に触れる機会を得られるようにイベント等で花の種を配布しました。

(3) 区民利用施設の照明設備等改修事業

- ・区民利用施設で環境負荷が軽減できるLED照明設備に改修しました。
(7月~10月・中村地区センター)

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素行動P R事業における、局からの配付物品を活用したことに伴う、消耗品費及び印刷製本費の残【38万2千円】 ・区民利用施設の照明設備等改修事業における、契約実績に伴う委託料の残【16万6千円】
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 地域で守ろう私の安全安心事業	予算額	決算額	差引額
	8,004,000	5,885,702	2,118,298

「安全で安心して暮らせるまちづくり」のために、交通安全対策や防犯活動支援等を行うとともに、地域での意識を高める啓発を実施しました。

(1) 交通安全支援事業

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました。 (4~10月・17校)
また、地域の交通安全教室等を支援しました。
- ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行いました。
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施しました。 (9/27)
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室を実施しました。 (12~2月・7園)
- ・南交通安全協会との協働により、新入学児童へ配付するランドセルカバーを作成しました。
- ・自転車交通安全教育(スクエアードストレイト)を実施しました。 (10~1月・2校)

(2) スクールゾーン対策事業

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面標示等の新設・補修(7~3月)をしました。また、スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。

(3) 放置自転車対策事業

- ・自転車等マナーアップ監視を道路局事業で執行しました。

(4) 防犯啓発活動

- ・後を絶たない特殊詐欺被害等に対し、警察署や防犯協会などの関係機関と連携して、キャンペーンや地域誌を活用した広報など、幅広い世代を対象とした効果的な啓発を行い、区民の防犯意識を高めました。

(5) 地域防犯活動支援

- ・子どもの安全対策支援として、新入学児童へ防犯ブザーを配布しました。(3月)
- ・自治会町内会への防犯物品の配布や、委託による防犯パトロール等を行いました。

(6) 防犯情報提供等

- ・安全で安心なまちづくりを推進するための啓発を行いました。
- ・登録した区民へ防犯情報等を毎週メール配信しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策事業における、自転車等マナーアップ監視が道路局事業に移管されたことに伴う委託料及び印刷製本費の残【136万円】 ・スクールゾーン対策事業における、電柱巻標識の更新件数減に伴う委託料の残【70万4千円】
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 みなみチャレンジごみ減量事業	予算額	決算額	差引額
	3,289,000	2,800,136	488,864

横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ5.3計画）の削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進しました。

（1）3R推進事業 拡充

- ・プラスチックごみの分別拡大を含む新たな横浜市一般廃棄物処理基本計画の広報及び住民説明会を実施しました。
- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭等）での啓発活動に加え、2つの重点分野（①プラスチック対策、②食品ロス削減）を啓発するポスターの掲出を行いました。
- ・保育園、幼稚園、小学校に訪問して出前講座を行いました。
- ・環境事業推進委員会を対象とした地域課題共有及び意見交換の会議を開催しました。（6月）
- ・神奈川県宅建協会と協働し、単身者向け賃貸住宅の入居者にごみ出しルールを周知しました。

（2）街の美化推進事業

- ・街の美化活動をきっかけに地域の輪を広げていくことを目指して、清掃月間イベントを実施しました。（11月・申込延べ4,570人）
- ・地域や事業者、学校等それぞれの団体が日頃独自に行っている清掃活動を一緒に行い、街の美化だけではなく多世代交流、健康促進等、横のつながりを持った活動につなげました。
- ・不法投棄排出防止看板等の告知物を製作し、関係機関と連携して区域での啓発を実施しました。
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉の時期に、障害者地域作業所へ委託しました。（4月、10～12月）

（3）南区環境にやさしい街づくり

- ・区推進本部会議、功労者表彰式を実施しました。（5月）

主な増減理由

- ・3R推進事業における、ポイ捨て禁止看板・ごみ削減チラシの在庫の活用に伴う印刷製本費の残【35万3千円】
- ・3R推進事業における、ごみ袋・トング等清掃用具の在庫の活用による消耗品費の残【24万3千円】

5 食とくらしの衛生支援事業	予算額	決算額	差引額
	900,000	893,655	6,345

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行いました。また、ペットの飼育マナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発を行いました。

（1）食品衛生知識の普及・衛生支援事業 拡充

- ・横浜総合高等学校との協働によりクリアファイルを作成（10月・4,000部）し、区内小学校で配布を行うことで、若年層及び子育て世代に向けた食品衛生知識の普及啓発を行いました。また、区内の飲食店や高齢者施設等に対しては、リーフレット等を配布して普及啓発を行いました。

（2）動物適正飼育推進事業

- ・ペットの飼い主に対し、セミナー（10/26・57人）において災害時に備えた準備とマナー啓発を実施しました。
- ・地域防災拠点のペット対策支援のため、拠点運営委員会連絡協議会での啓発（5月）及び拠点運営委員向けの説明会（9月）を行いました。また、個別に拠点運営委員会及び拠点訓練でペット同行避難の啓発を行いました。（8か所）

（3）ねずみ・衛生害虫駆除支援事業

- ・衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行いました。
- ・社会福祉サービス事業者向けにトコジラミ対策に関する講演会を実施しました。（10月・140人）

IV 地域の皆さんとともに歩む区づくり

1 区役所運営事業	予算額	決算額	差引額
	6,503,000	9,583,735	▲3,080,735

人権啓発講演会や人権啓発研修の実施を通じて、区民及び職員の人権意識の向上を図りました。また、市税の申告時期に身近に相談できる場の提供や、区ホームページからの窓口混雑状況の配信など、区役所利用者の利便性向上を図るほか、来庁者に配慮した庁舎環境を整備しました。

(1) 人権啓発推進事業

- ・区民を対象とした人権啓発講演会を実施しました。（12/5・みんなみん（南公会堂）・285人）
- ・職員向け人権啓発研修を実施しました。
- ・職場横断プロジェクトや職員表彰等の取組を通じて、区役所のチーム力向上を図りました。

(2) 庁舎環境整備事業

- ・必要性や緊急度に応じて、庁舎環境の改善を図りました。
- ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務を行いました。

(3) 市税啓発事業

- ・来庁者が集中し混雑する申告期間に、専門家による申告相談を実施するとともに、要件ごとの窓口にスムーズに案内することで、混乱防止、待ち時間の短縮等、申告体制の充実を図りました。（2～3月）

(4) 区政推進事業

- ・南区運営方針の策定（5月）や区連絡調整業務等を進めました。

(5) 窓口サービス向上事業 拡充

- ・戸籍課及び保険年金課の窓口混雑緩和のため、混雑状況をリアルタイムに区ホームページに掲載するとともに、メールやLINEでの受付呼出通知サービスを提供しました。また、新たに住民票等のお渡し窓口の呼出状況を区ホームページに掲載し、窓口サービスの更なる向上を図りました。

主な増減理由

- ・区庁舎環境整備事業における、警備委託の人件費増等に伴う委託料の増
【▲371万円】

2 区民意識調査事業	予算額	決算額	差引額
	2,500,000	2,858,507	▲358,507

区民の生活意識や区政への関心及びニーズを把握する区民意識調査を実施し、各事業の見直しや施策の検討につなげます。

(1) 区民意識調査事業 新規

- ・区民の生活意識や福祉、地域活動への関心について調査し（5月）、集計結果を公表しました。（1月）
- また、調査結果を分析し、庁内で共有することで、更なる事業手法の見直しや新たな取組の検討につなげます。

主な増減理由

- ・区民意識調査事業における、郵便での回答が多かったことに伴う通信運搬費の増
【▲48万5千円】

3 みなみ多文化共生推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	6,892,000	5,871,853	1,020,147

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会がともに暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行いました。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣、チラシの翻訳を行うほか、ごみ集積場所に掲示するステッカーを多言語で作成する等、適正排出を促進しました。

(1) 外国人共生支援事業

- ・多言語による情報提供・生活相談（1,595件）のほか、弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談（46件）等を行いました。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳やイベント等への通訳派遣を行いました。（4件）
- ・外国籍等青少年等の地域・社会での活躍促進のため、日本語ボランティア育成講座（8～9月・全5回、15人）や情報交換会、外国籍等青少年の交流事業（7～8月、全5回、14人）を実施しました。

(2) 多言語によるごみ適正排出促進事業

- ・ごみ適正排出促進ステッカー（英語・中国語ほか）などを作成し、ごみ集積場所に掲出しました。
- ・多文化共生ラウンジと連携して説明会を行いました。

(3) 多言語による窓口案内事業

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置しました。
- ・来庁者の多い窓口職場に設置するタブレット端末（ICT機器）の画面を通じた通訳（英語・中国語ほか）による案内を行いました。
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」（英語・中国語）をホームページに掲載し、転入者や希望者へURL及び二次元コードが記載されたチラシを配布しました。

(4) 多言語による子育て支援事業 拡充

- ・乳幼児健診時に通訳を配置しました。（中国語・英語・フィリピン語）
- ・こども家庭相談リーフレットの多言語版を紙の媒体からデジタル翻訳配信へ変更し、翻訳できる言語を4言語から9言語へ増やし対応しました。（7月）

(5) 学校を核にした多文化共生事業 拡充

- ・外国籍等の児童生徒が多い小中学校で、外国人ボランティアによる外国の文化や言葉、スポーツ、遊びなどを紹介するプログラムを実施しました。（52回）
- ・外国籍等の児童生徒が多い小中学校に加え、新たに希望のあった小学校3校でもプログラムを実施しました。（11回）
- ・保護者や地域の方々が参加できるように、保護者参観日にプログラムを実施するなどして、地域における多文化理解を推進しました。
- ・外国人ボランティア向けの研修会を実施しました。（2回・日本語、英語、中国語で実施）

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語による子育て支援事業における、多言語情報発信が局予算で実施されたことに伴う使用料の残【49万5千円】 ・多言語によるごみ適正排出促進事業における、ステッカーの在庫活用による印刷製本費の残【20万円】
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 地域の力応援事業 <重点>	予算額	決算額	差引額
	2,860,000	1,790,646	1,069,354

地域人材の発掘・育成や地域活動の好事例の発信、また、地域の実情に応じた取組の支援を行うことで、市民主体の地域運営を進めました。

(1) 地域人材発掘・育成事業

- ・地域で活動する人の思いや地域の魅力等を紹介する、地域情報誌「キラリ」を発行しました。
- ・地区懇談会等で出された地域の課題を深堀りし解決に向けた支援を行うことを目的とする講座（課題解決型寺子屋みなみ）を開催しました。（10～2月・南永田山王台地区連合） 新規
- ・南区地域の力応援補助金及びあつたかみなみ活動支援補助金の交付団体、南区地域福祉保健計画推進団体が自らの活動を振り返るとともに、団体や活動に興味のある方同士で交流する機会を提供するために、地域活動発表会・交流会を開催しました。（2/24・区役所・49人）
- ・地域活動の人材づくりをさらに促進できるよう、新たに地域の課題解決等に取り組む団体に対し、補助金を交付しました。
 ○交付団体数：5団体（新規2団体、継続3団体）
 ○補助上限額：1年目15万円、2年目10万円、3年目5万円
 ○補 助 率：寺子屋修了生応援コース 10分の9、地域のつながり応援コース 10分の7

(2) 地域運営支援事業

- ・地域が自ら課題解決や魅力づくりに取り組めるよう、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。（5～6月・588人）
- ・地域の団体が行う活動に対する助言や、ICTの活用を支援する専門家を派遣しました。（2団体）
- ・区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け研修を実施しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材発掘・育成事業における、課題解決型寺子屋みなみの運営の一部を職員が実施したことによる委託料の残【50万4千円】 ・地域人材発掘・育成事業における、キラリ発行回数見直しに伴う印刷製本費及び委託料の残【23万7千円】 ・地域運営支援事業における、コーディネーター派遣依頼が少なかったことに伴う報償費の残【21万8千円】
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 自治会町内会支援事業	予算額	決算額	差引額
	4,186,000	3,483,110	702,890

地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施しました。

(1) **自治会町内会連絡調整事業**

- ・区等が自治会町内会に依頼する配布物等を各団体が指定する場所に配送しました。（8月、12月を除く各月）

(2) **自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施**

- ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈しました。（3月）
- ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈しました。（3月）

(3) **自治会町内会加入促進及び自治会町内会支援**

- ・宅建協会南支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めました。（80店舗）
- ・将来の担い手確保につなげるため、若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを配布しました。
- ・連合を超えた役員同士のネットワークづくりやDX推進のための情報交換を目的として、南区自治会町内会DX推進交流会を実施しました。（12/14・26自治会町内会・32人）

主な増減理由

- ・自治会町内会連絡調整事業における、配送業務の契約実績に伴う委託料の残【55万9千円】

6 広報広聴事業	予算額	決算額	差引額
	1,631,000	1,363,714	267,286

生活に役立つ情報をまとめた区民生活マップを作成し、転入される方や窓口案内で配布するとともに、南区マスコットキャラクター「みなっち」を適正に管理し、利用を促進しました。

また、南区に関する各種統計資料をまとめた統計概要を発行しました。

(1) **広報事業**

- ・転入者や希望者へ配布する区民生活マップを発行しました。（3月・8,000部）
- ・「みなっち」の商標（文字・イラスト）について更新登録を行いました。（6月）

(2) **統計概要発行事業**

- ・南区を数値的にわかりやすく紹介した冊子「統計で知る みなみ」を発行しました。（3月）

主な増減理由

- ・広報事業における、区民生活マップの在庫活用に伴う印刷製本費の残【25万8千円】

(2) 令和7年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

1 区別総括表

(単位:千円)

区分	令和7年度予算	令和6年度予算	差引
自主企画事業費	99,264	99,298	▲34
統合事務事業費	52,945	48,071	4,874
統合事務費	35,842	30,579	5,263
統合事業費	17,103	17,492	▲389
区庁舎・区民利用施設管理費	595,072	570,764	24,308
合計	747,281	718,133	29,148

2 内訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

重点分野	令和7年度予算	事業名
にぎわいにあふれ、 あつたかさを感じられるまちづくり	22,764	魅力発信・にぎわいづくり事業
		みなみ桜まつり事業
		みなみ商店街等活性化事業
		区民文化・スポーツ支援事業
子育てしやすく、 誰もが住み続けたいまちづくり	22,406	すこやか子育て支援事業
		保育施設交流・入所サポート事業
		健やか元気応援事業
		高齢者・障害者地域包括ケア推進事業 他2事業
安全で安心して暮らせる、 持続可能なまちづくり	27,952	みなみ減災推進事業
		脱炭素行動普及啓発事業
		地域で守ろう私の安全安心事業
		みなみチャレンジごみ減量事業 他1事業
地域の皆さんとともに歩む区づくり	26,142	区役所等運営事業
		みなみ多文化共生推進事業
		地域の力応援事業
		自治会町内会支援事業 他1事業
計	99,264	21事業

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

事業名	令和7年度予算	説 明
統合事務費	35,842	各区共通で区の裁量が少ない事務費
統合事業費	17,103	各区共通で区の裁量が少ない事業費
広報よこはま南区版発行事業	9,018	広報よこはま南区版発行に係る経費
専門相談事業	1,487	法律相談等の専門相談に係る経費
クリーンタウン事業	289	美化推進重点地区の清掃に係る経費
消費生活推進員事業	92	消費生活推進員の活動に係る経費
緊急時情報システム運用事業	531	電話を利用した緊急時情報システムの運用経費
スポーツ推進委員支援事業	2,547	スポーツ推進委員の活動に係る経費
青少年指導員事業	2,209	青少年指導員の活動に係る経費
学校・家庭・地域連携事業	750	学校・家庭・地域の連携に係る経費
健康づくり月間事業	180	いきいきふれあい南なんデーの開催経費
計	52,945	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

事業名	令和7年度予算	説 明
区庁舎	150,744	区庁舎・公用車等管理運営費
土木事務所	4,426	土木事務所管理運営費
公会堂	45,335	公会堂管理運営費
地区センター・スポーツ会館	178,644	地区センター(4館)・スポーツ会館管理運営費
青少年施設	9,002	こどもログハウス管理運営費
老人福祉センター	31,223	老人福祉センター(南寿荘)管理運営費
コミュニティハウス	98,335	コミュニティハウス(7館)管理運営費
スポーツセンター	43,302	スポーツセンター管理運営費
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	29,941	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費
その他施設(広場・遊び場)	838	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,282	区庁舎、土木事務所、区民利用施設修繕費
計	595,072	



令和7年度 南区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の重点

子育て世代など未来を担う若い世代を支援し、地域でともに活動する仲間を増やしていくながら、高齢者を支えていく等の好循環を創り出すことで、誰もが“つながり”や“あったかさ”を感じられ、ずっと住み続けたいと思える南区をめざします。
中期計画の推進や地域の皆さまの声を大切にし、次の4つを重点として取組を進めます。

にぎわいにあふれ、あったかさを感じられるまちづくり

自治会町内会をはじめとした地域の皆さまと連携しながら、地域のにぎわいやつながりをさらに高め、地域経済の活性化を図ります。また、下町情緒を感じさせる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなど、南区らしさを感じられる魅力を広く区内外に発信します。

- ・魅力発信・にぎわいづくり事業
- ・みなみ商店街等活性化事業
- ・みなみ桜まつり事業
- ・区民文化・スポーツ支援事業

子育てしやすく、誰もが住み続けたいまちづくり

南区を子育てしやすいまちにしていくため、相談体制や子どもの居場所づくりなど、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を充実させるとともに、地域ぐるみで子ども・青少年の健全育成に取り組みます。また、ライフステージに合わせた区民の健康づくりや介護予防、障害者支援など様々な取組を進めるとともに、平時からの見守り等地域の支えあいを支援し、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。

- ・すこやか子育て支援事業
- ・健やか元気応援事業
- ・地域福祉保健計画等推進事業
- ・保育施設交流・入所サポート事業
- ・高齢者・障害者地域包括ケア推進事業
- ・青少年育成事業

安全で安心して暮らせる、持続可能なまちづくり

自らの身を守る自助力や地域の防災力を高めるための啓発及び支援を実施するとともに、災害に備えて拠点や関係者・関係団体との連携を強化するほか、交通安全や防犯対策にも地域と協働で取り組みます。また、グリーン社会の実現に向け、「GREEN×EXPO 2027」開催の機運醸成や、一人ひとりの行動変容を促すPRを進めるとともに、引き続き、市民利用施設等のLED化を推進します。

- ・みなみ減災推進事業
- ・地域で守ろう私の安全安心事業
- ・食とくらしの衛生支援事業
- ・脱炭素行動普及啓発事業
- ・みなみチャレンジごみ減量事業

地域の皆さまとともに歩む区づくり

地域活動に携わる人材の発掘・育成及び自治会町内会の支援に取り組むとともに、外国籍住民等との相互理解を深める取組などを通じて、多文化共生のまちづくりを進めます。また、各種広報媒体を通じて区の様々な情報の発信を積極的に行うとともに、区民の皆さまからのご意見を大切にしながら各種施策を進めていきます。

- ・区役所等運営事業
- ・地域の力応援事業
- ・広報事業
- ・みなみ多文化共生推進事業
- ・自治会町内会支援事業

令和7年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行状況

新規	令和7年度新規事業
拡充	予算を拡充した主な事業

I にぎわいにあふれ、あつたかさを感じられるまちづくり

1 魅力発信・にぎわいづくり事業	607万1千円	<令和6年度 754万5千円> 区政推進課
------------------	---------	--------------------------

※ <>は前年度の数値

区民の地域への興味・愛着を向上させるとともに、区の魅力的なコンテンツを整理・強化し、積極的に発信していきます。これにより、区内外の南区ファンを増やし、関係人口の増加や定住促進を図り、にぎわいを生み出し、まちの活力の維持につなげていきます。

(1) 愛着向上事業 14万5千円

- ・小学生向け出前講座（さくら学習）等、地域の人が魅力を感じられる取組を実施します。

(2) 魅力発掘事業 75万円

- ・区民がおすすめするお土産として平成27年に認定した「みなみやげ」の追加認定商品を公表しました。（6月）
- ・南区のマスコットキャラクターみなっちのより一層の活用促進に取り組みます。

(3) 魅力発信事業 517万6千円

- ・令和6年度に公開したポータルサイトを通じて「みなみやげ」や「みなみのおすすメシ」等の南区の魅力を発信していくとともに、スタンプラリーの実施等により区内の回遊を促します。
- ・民間事業者等と連携し、区外からの誘客促進につなげます。（2～3月）

関連する 主な事業

- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業【みどり環境局から再配当】(50万円)
 - ・小中学校へ区の花さくらの植樹を行います。
- 街路樹管理事業【道路局から再配当】(350万円)
 - 街路樹による良好な景観の創出事業【みどり環境局から再配当】(810万円)
 - ・大岡川プロムナードの魅力的な景観を維持するため、桜の植樹を行います。

2 みなみ桜まつり事業	1,070万円	<令和6年度 1,070万円>
地域振興課		
まつりの開催を通じて、区民相互の交流・地域のふれあいやにぎわいを促進し、南区への愛着が湧く地域づくり及び区づくりを推進します。		
<p>(1) みなみ桜まつり事業 1,070万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区の様々な魅力を知るきっかけとなるよう、区民、関係団体など多くの方が参加できるまつりを実施します。 ・桜のライトアップを大岡川プロムナード（3/20～4/5）、イベントを蒔田公園（3/21、3/22）で実施します。 		

3 みなみ商店街等活性化事業	270万円	<令和6年度 270万円>
地域振興課		
地域のふれあいやにぎわいを創出する魅力ある商店街づくりを支援することで、地域及び商店街の活性化を図ります。		
<p>(1) 商店街活性化イベント補助事業 50万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。 <p>(2) 商店街等活性化支援事業 220万円 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、区内の商店街をより広く区民の皆さんに周知する場として、「商店街朝市」（10/5・南なんデーと同時開催）及び「商店街フェスタ」（1/28）を南区商店街連合会と連携して開催します。 ・南区内の商店街と名所旧跡やおすすめスポット等を絵地図で紹介するマップ（日本語版・中国語版・英語版）を作成しウェブ上で公開し、来街者の集客につなげます。（蒔田・弘明寺・井土ヶ谷エリア） さらに日本語版マップを印刷し、観光業界の企業・団体等に配布して、観光客の案内に活用します。（1,000部） 		
関連する主な事業	○横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から再配当】（585千円） <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が実施する地域とのふれあいや賑わいを創出するイベントを支援します。 ○商店街にぎわい促進事業【経済局事業】（1,305千円） <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の来街促進につながる取組（広報・イベント・販促セール等）を支援します。 	

4 区民文化・スポーツ支援事業	329万3千円	〈令和6年度 295万3千円〉
地域振興課		

文化祭の開催や市民活動の支援を行うことで、区民相互の交流の場の創出や地域の魅力づくりに取り組みます。また、子どもから大人まであらゆる世代の読書活動を推進します。

スポーツについては、区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進します。

(1) **南区文化祭支援事業 105万円**

- ・第50回南区文化祭みんなの合唱祭、区民ステージ、フラ★フェスタ、区民創作作品展を開催し、区民の文化活動を支援します。 (11/1～3・区役所及びみなみん(南公会堂))

(2) 「あったかみなみ」活動支援事業 154万円 拡充

- ・区民が自主的・主体的に企画、実施する公共的な事業に対して補助金を交付し、地域の活性化及び魅力づくり、にぎわいのあるまちづくりを目指します。(4団体)

(3) **南区読書活動推進事業 13万3千円**

- ・第三次横浜市民読書活動推進計画に基づき、第三次南区読書活動推進目標(令和7年度～11年度)を策定します。 (12月)

また、朗読コンサート (2/11・区役所) や読書感想画展 (12～1月) 等の実施及び学校や地域の読書活動関連施設等と連携を図り、区民が読書に親しみ、楽しむ機会をつくります。

(4) **スポーツ協会支援事業 30万円**

- ・南区スポーツ協会主催の地域貢献事業(みなっちランニングフェスタ (11/30)、みなっちスポーツフェスタ (2/11))に補助金を交付します。

(5) **区民スポーツ推進事業 27万円 新規**

- ・スポーツに関心がない人や関心があっても取り組めない人へのきっかけづくりとして南区キッズデーのイベント内で体を動かす楽しさを伝える事業を実施します。 (12/20)

関連する
主な事業

- 読書活動推進事業【教育委員会事務局から再配当】 (25万円)
 - ・読書活動推進の講演会等を実施します。
 - ・第三次南区読書活動推進目標の周知を図ります。

II 子育てしやすく、誰もが住み続けたいまちづくり

1 すこやか子育て支援事業	500万6千円	〈令和6年度 489万3千円〉 こども家庭支援課
<p>養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止します。</p>		
<p>(1) 赤ちゃん学級 79万円</p> <ul style="list-style-type: none">・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内12会場で教室を開催します。		
<p>(2) 土曜両親教室 30万7千円 拡充</p> <ul style="list-style-type: none">・両親教室（平日開催）に参加が困難な妊婦とパートナーのために、区役所において土曜両親教室を開催します。（6月、<u>9月</u>、12月、3月）・新たに、地域にある「親と子のつどいの広場」等と連携し、より身近な場所で両親教室を開催します。（5広場・19回）		
<p>(3) 子どもの居場所づくり事業 85万円</p> <ul style="list-style-type: none">・企画委員会、交流会等を通じて、アドバイザーの助言を得ながら、子どもの居場所の活動を支援します。また、子どもの居場所マップの配布(15,000部)や居場所の活動団体のポスター掲示を通して子どもの居場所を地域に広く周知することで必要なつながりを支援します。		
<p>(4) 児童虐待予防事業 133万2千円</p> <ul style="list-style-type: none">・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対し心理職による個別相談を行います。・児童虐待予防のため、地域で子どもや養育者を見守れるよう啓発物品の配布等を行います。		
<p>(5) 子育て情報提供事業 123万円</p> <ul style="list-style-type: none">・子育てに関する地域の子育て支援情報や相談窓口をまとめた「子育て応援マップ」を作成し、母子手帳交付時や関係機関などに配布します。（7,000部）・相談先をより分かりやすくまとめた「こども家庭相談リーフレット」を作成します。・個別支援を効果的に実施するため、窓口等でタブレット端末も活用した相談支援を行い、妊娠期から切れ目がない育児支援を行います。		
<p>(6) 親子あんしん窓口事業 49万7千円</p> <ul style="list-style-type: none">・課内待合スペースに整備したキッズスペースにおいて、窓口が混雑する時期（8月、<u>10月</u>、3月）に見守りスタッフによる乳幼児の見守りを実施します。		
関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none">○ 児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から再配当】（市合計9,712万円）<ul style="list-style-type: none">・児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくり、人材育成を推進します。○ こども家庭相談事業【こども青少年局から再配当】（16万5千円）<ul style="list-style-type: none">・子育ての気になることや困ったことの他、妊娠期から思春期、18歳まで幅広く相談に応じます。（保健師、社会福祉職、助産師等）・相談内容によっては他の専門機関を紹介します。・相談機関を一覧にまとめたリーフレットを作成し、小中学校を含め幅広く配布し周知します。○ 寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から再配当】（市合計3億5,378万円）<ul style="list-style-type: none">・養育環境に課題のある小・中学生を対象にして、基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施します。	

2 保育施設交流・入所サポート事業	100万9千円	<令和6年度 162万円> こども家庭支援課
-------------------	---------	---------------------------

地域及び保育・教育施設同士の交流を通じて、園児の健全な育成を図ります。また、子ども連れでの来庁の負担軽減と利便性向上のため、保育に関するオンライン相談を実施します。

(1) 保育園応援隊 12万7千円

- ・保育園児の健全な育成を図るとともに、地域へ貢献し連携を深めるため、地域の方々と保育園児と一緒に花苗の手入れや公園清掃などのボランティア活動を行います。

(2) みなっち杯えきでん交流事業 29万6千円

- ・区内の認可保育園の園児及び保育士同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、年長児を対象にした「えきでん大会」を実施します。 (11月・区内公園5か所)

(3) 子育てオンライン相談事業 15万円

- ・保育・教育コンシェルジュによる保育所入所等のオンライン相談を実施します。

(4) 子育て支援講演会 19万6千円 拡充

- ・子どものコミュニケーション力の向上、子育ての楽しさを知ってもらうために、親子エクササイズを交えた講演会を行います。 (10/25・大岡地区センター)

(5) 市立保育園の絵本貸出事業 24万円 新規

- ・絵本の貸出をきっかけとして、地域の子育て世帯の育児相談等の子育て支援事業の利用を促進するため、貸出用絵本を充実します。
- ・購入する絵本の2～3割を外国につながる児童にも伝わりやすいものにし、多文化共生につなげます。

関連する
主な事業

- 保育・教育コンシェルジュ事業【こども青少年局事業】(市合計1億7,060万円)
 - ・就学前のお子さんの預け先に関する保護者の相談に応じ、保育サービス等について情報を提供します。保護者ニーズと保育サービス等を適切に結びつけることを目的として、各区のこども家庭支援課に配置します。

3 健やか元気応援事業	625万円	〈令和6年度 589万5千円〉 福祉保健課 保険年金課
-------------	-------	--------------------------------

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援します。

(1) 健康づくり推進事業 299万9千円 拡充

- 若い世代に関心の高い内容を取り口にした健康な生活習慣につながるプッシュ型の情報発信を行います。（9～11月・YouTube、Instagram、LINE）
- 日常生活で立ち寄る施設等にて、健康相談・啓発を行います。（健康相談及び啓発：商業施設・9/20、ドライビングスクールのイベント・11/2、温浴施設・1月頃、啓発：区内1駅・11月）
- 保健活動推進員、食生活等改善推進員など地域の健康づくりの推進役と連携しながら、南区民の健康への意識づくりと健康寿命の延伸を図っていきます。（10/5・南なんデーで実施）
- 乳幼児健診等の機会を活用し、食事・歯の健康・がん検診受診勧奨を行います。

(2) 国民健康保険特定健診受診率向上事業 22万7千円

- 特定健診の受診率向上を目指し、区局で役割分担して取り組み、健康福祉局では既加入者に対してハガキ、SMSを利用した個別受診勧奨を実施します。
南区では、独自に受診啓発用物品を作成し、国民健康保険への切替手続時に、窓口での受診勧奨に重点的に取り組みます。

(3) 自殺対策事業 52万4千円

- 悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つなぎ」ができるゲートキーパーの普及啓発及び養成を目的に、区民や地域の支援者及び関係団体を対象とした講演会等を実施します。（11月）
- 南区職員全員がゲートキーパーであることを目標に、職員向けにゲートキーパー研修を実施しました。（4月・70人）また、専門職向けに実践研修を実施します。（11月）
- 自殺対策強化月間を中心に、鉄道事業者や関係団体等と連携してポスター掲出、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施します。（9月、3月）

(4) いきいきふれあい南なんデー 250万円

- 健康と福祉をテーマにした講演会や健康相談、体験型のブースや事業PRなどを通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図ります。（10/5・区役所及びみなみん（南公会堂））

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3期健康横浜21の推進事業【健康福祉局から再配当】（市合計6億877万円） <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から高齢期まで継続した生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防や重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくり等を市民・関係機関・団体・行政がともに取り組みます。 ○ データヘルス計画及び特定健診等実施計画に基づく保険事業【健康福祉局事業】（市合計19億4,710万円） <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・特定保健指導において、特定健康診査の自己負担額の無料化を継続するほか、未受診者・未利用者対策として、対象者特性に合わせたナッジ理論に基づく個別勧奨を行います。 ○ 自殺対策事業【健康福祉局から再配当】（31万円） <ul style="list-style-type: none"> ・第2期横浜市自殺対策計画に基づき、人材育成、普及啓発等、総合的に対策を進めます。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 高齢者・障害者地域包括ケア推進事業

460万2千円

〈令和6年度 534万2千円〉

高齢・障害支援課 福祉保健課

高齢者や障害者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、高齢者の介護予防や認知症対策などに取り組むとともに、障害者の地域生活支援や、権利擁護・障害者理解の啓発等、様々な施策を進めます。

(1) 介護予防事業 116万8千円

- ・介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かいご予防サポーター」の養成講座を実施（5～6月・全5回・区役所・24人）しました。令和7年度は南区にかいご予防サポーターが誕生して20年目の節目にあたり、新たに、地域包括支援センターエリアごとに健康運動指導士を派遣し、活動内容の更なる充実を目指します。新規
(浦舟エリア：8/26、睦エリア：8/1、清水ヶ丘エリア：1/30、別所エリア：3/9)
- ・介護予防や認知症予防の取組に関する普及啓発、早期実践に向けたきっかけ作りを目的に、介護予防健診「みなみフレイル予防健診」（令和6年度名称は「お元気で21健診」）を実施します。実施に当たっては、かいご予防サポーター、地域包括支援センターと協働で行います。
(9/18及び2/18・区役所・午前午後各1回、区内8地域包括支援センターエリアごと・13回
(5回実施済み))
- ・認知症の早期発見早期診断に繋げるきっかけとするため、タッチパネルによる認知症もの忘れ相談プログラムを実施します。（2/18・区役所・みなみフレイル予防健診と同時実施）

(2) 高齢者等地域ささえあい推進事業 107万1千円

- ・民生委員等による高齢者等への定期訪問活動を支援するため、16地区にある高齢者等定期訪問事業連絡会に対し補助金を交付しました。

(3) 認知症対策事業 87万3千円

ア 認知症に関する理解促進・関係機関との連携強化

- ・地域ケアプラザや図書館等、区民の身近な場所で認知症に関する普及啓発を実施します。
- ・認知症、成年後見制度、終活の理解促進及び普及啓発を目的とした映画上演会を開催します。
(10/24・みなみん（南公会堂）)
- ・南区版オレンジリングや認知症普及啓発のリーフレットを作成し、様々な機会で認知症の普及啓発を実施します。
- ・認知症キャラバン・メイト支援のための講座等を開催しました。（6月・南区社協・22人）
- ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医や関係機関とのネットワーク構築を推進します。

イ 見守り体制支援

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関（区、警察署、地域包括支援センター）や協力機関（公共交通機関）と運用していきます。
- ・あんしんネットワーク連絡会を開催し、認知症に関する知識や協賛、協力機関の課題を共有及び支援体制の強化を図り、地域の見守り・早期発見体制（ネットワーク）の向上に取り組みます。

(4) 権利擁護推進事業 26万2千円

- ・認知症、成年後見制度、終活の理解促進及び普及啓発を目的とした映画上演会を開催します。
(10/24・みなみん（南公会堂）)
- ・成年後見制度の必要性を本人に分かりやすく説明するリーフレット等を活用し、制度を対象者や関係機関等に広く周知します。

(5) 障害者の地域生活支援事業 122万8千円

- ・令和6年度「障害者の健康づくりに関する調査」結果に基づき、「障害者のけんこう講座」の実施内容を、運動プログラムから、栄養・口腔ケアに変更して実施します。また、事業所へ体操のDVDや健康に関するリーフレットを配布し情報提供を行います。
- ・障害児・者の支援機関や当事者団体と協働し、地域とのスポーツ交流イベント（11/14・南地区センター）や障害者の作品等展示（11/25～28・区役所）、作品展示販売会（12/5・区役所）等の障害者理解普及啓発イベントを行います。
- ・障害に関する相談支援機能の充実を目的として、障害児・者の相談支援を行う事業所を対象にスキルアップ研修を実施します。（1月、3月・2回）

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケア推進事業費【健康福祉局から再配当】（40万円） <ul style="list-style-type: none"> ・横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区アクションプランを基に、区域での取組を推進するとともに、次期区アクションプラン策定（令和9年度～12年度）に向けたプランの効果検証のための振り返りを行います。 ○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業【健康福祉局事業】（市合計3億2,439万円） <ul style="list-style-type: none"> ・健診、医療、介護データ等を活用し、高齢者一人ひとりの健康課題に着目したフレイル対策を10区に拡大して実施します。（6年度開始：南区、栄区、泉区、7年度開始：鶴見区、西区、中区、港南区、旭区、磯子区、瀬谷区8年度：全区展開予定） ○ 介護予防普及啓発事業【健康福祉局事業】（市合計3,740万円） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくりや介護予防について、リーフレット等の配布や講演会の開催を通して普及啓発を行います。 ○ 地域介護予防活動支援事業【健康福祉局事業】（市合計1,039万円） <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の開催により、地域の介護予防に関する活動の活性化や人材育成を行います。 ○ 元気づくりステーション事業【健康福祉局事業】（市合計1,156万円） <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動（元気づくりステーション）について、新規立ち上げ等の支援を行います。 ○ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業【健康福祉局から再配当】（48万円） <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上のひとり暮らし高齢者等について、横浜市が保有する個人情報を民生委員及び地域包括支援センターへ提供し、相談支援や地域における見守り ○ 認知症支援事業【健康福祉局事業】（市合計1億5,170万円） <ul style="list-style-type: none"> ・専門医師等による認知症に関する保健福祉相談を実施します。 ・認知症サポーター、認知症キャラバン・メイトを養成します。 ・認知症早期発見事業として、50歳以上を対象に、市内の医療機関で問診による検査（横浜市もの忘れ検診）を実施します。 ○ 認知症地域支援推進事業【健康福祉局事業】（市合計4,392万円） <ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジをモデル実施から本格実施に移行し、市内全域で行います。 ○ 市民の意思決定支援事業【健康福祉局事業】（市合計660万円） <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが自らの意思で生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく生きができるよう、エンディングノートを作成・活用するための講座を開催します。
関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケア推進事業費【健康福祉局から再配当】（40万円） <ul style="list-style-type: none"> ・横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区アクションプランを基に、区域での取組を推進するとともに、次期区アクションプラン策定（令和9年度～12年度）に向けたプランの効果検証のための振り返りを行います。 ○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業【健康福祉局事業】（市合計3億2,439万円） <ul style="list-style-type: none"> ・健診、医療、介護データ等を活用し、高齢者一人ひとりの健康課題に着目したフレイル対策を10区に拡大して実施します。（6年度開始：南区、栄区、泉区、7年度開始：鶴見区、西区、中区、港南区、旭区、磯子区、瀬谷区8年度：全区展開予定） ○ 介護予防普及啓発事業【健康福祉局事業】（市合計3,740万円） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくりや介護予防について、リーフレット等の配布や講演会の開催を通して普及啓発を行います。 ○ 地域介護予防活動支援事業【健康福祉局事業】（市合計1,039万円） <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の開催により、地域の介護予防に関する活動の活性化や人材育成を行います。 ○ 元気づくりステーション事業【健康福祉局事業】（市合計1,156万円） <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動（元気づくりステーション）について、新規立ち上げ等の支援を行います。 ○ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業【健康福祉局から再配当】（48万円） <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上のひとり暮らし高齢者等について、横浜市が保有する個人情報を民生委員及び地域包括支援センターへ提供し、相談支援や地域における見守り ○ 認知症支援事業【健康福祉局事業】（市合計1億5,170万円） <ul style="list-style-type: none"> ・専門医師等による認知症に関する保健福祉相談を実施します。 ・認知症サポーター、認知症キャラバン・メイトを養成します。 ・認知症早期発見事業として、50歳以上を対象に、市内の医療機関で問診による検査（横浜市もの忘れ検診）を実施します。 ○ 認知症地域支援推進事業【健康福祉局事業】（市合計4,392万円） <ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジをモデル実施から本格実施に移行し、市内全域で行います。 ○ 市民の意思決定支援事業【健康福祉局事業】（市合計660万円） <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが自らの意思で生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく生きができるよう、エンディングノートを作成・活用するための講座を開催します。

5 地域福祉保健計画等推進事業	408万2千円	〈令和6年度 380万円〉 福祉保健課
第4期南区地域福祉保健計画（計画期間：令和3年度～7年度）を推進するため、庁内各課の取組を進めるとともに、関係機関と連携しながら地域活動団体への支援等に取り組みます。また、第5期南区地域福祉保健計画（計画期間：令和8年度～12年度）を策定します。		
(1) 南区地域福祉保健計画推進事業 408万2千円		
ア 南区地域福祉保健計画推進事業		
<ul style="list-style-type: none"> 特に力を入れる課題（見守り・早期発見の仕組みづくり、地域人材の発掘・育成）の解決を目的に、関係機関等による検討や好事例の共有等を行うことにより、引き続き第4期計画を推進します。 令和5年度に作成したリーフレット「福祉と保健の困りごと対応帳」の活用を促進します。 関係機関による策定プロジェクトの意見を踏まえて計画原案を作成し、区民意見募集を実施しました。（8月）今後、区民意見を反映し第5期計画を策定・公表します。（3月） 		
イ 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業		
<ul style="list-style-type: none"> 第4期計画の振り返りや第5期計画案等について、南区の保健・医療・福祉等の関係者や団体と意見交換を行う懇談会を開催します。（12月） 		
ウ 地区别別計画応援事業		
<ul style="list-style-type: none"> 地区社会福祉協議会に、地区別計画に位置付けられた事業に対する補助金を交付しました。（14団体） 		
関連する主な事業	<input type="radio"/> 地域福祉保健計画推進事業【健康福祉局から再配当】（50万円） <ul style="list-style-type: none"> 第5期市計画を推進するとともに、区計画の策定・推進を支援します。 	

6 青少年育成事業	145万7千円	〈令和6年度 140万3千円〉 地域振興課 こども家庭支援課
地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付するとともに、ボランティア活動を通じて青少年の地域の交流に取り組みます。		
(1) 青少年活動補助金 101万円		
<ul style="list-style-type: none"> ふれあいキャンプ事業を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、異年齢児間交流を図りました。（7/19～20・御殿場ほか・130人） 青少年の考え方や思いを作文にして発表するボイス・オブ・ユース事業を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、青少年の健全育成を図ります。（12/7・みんな（南公会堂）） 区民少年野球大会を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ補助金を交付しました。（5～7月・区内小中学校校庭及び清水ヶ丘公園多目的広場等・24チーム） 		
(2) 青少年ボランティア地域交流事業 44万7千円 拡充		
<ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全育成及び地域との交流促進を目的として、ボランティアを希望する中学生・高校生を公募し、夏休み中に放課後児童育成事業所、区内市立保育園で受入を行いました。 <p>今年度から新たに、中学生だけでなく高校生も公募対象とし、活動場所に市立保育園を追加し、定員を60人から85人に拡大しました。（22事業所・68人・3園・25人）</p>		

III 安全で安心して暮らせる、持続可能なまちづくり

1 みなみ減災推進事業

1,263万9千円 <令和6年度 1,258万2千円>
総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上、地域で共に助け合う「共助」、災害対応力の向上のための「公助」に取り組みます。

【自助】

(1) 防災啓発事業 130万1千円 拡充

- 現役世代や子どもを対象に自助意識の啓発を行うため、親子向け体験型防災イベントを開催します（2月）。また、中学生を対象に、防災意識の啓発のための講座等に取り組みます。 新規
- 区民の自助・共助意識向上のため、防災フェスタなど南消防署と連携したイベントにて防災啓発に取り組みます。（11/22・清水ヶ丘公園）
- 自治会町内会や若年層を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発します。
- 若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援しました。（8/20、22）

(2) 減災対策支援事業 218万7千円 拡充

- 家具転倒防止器具（6～1月）、ガラス飛散防止フィルム（6～11月）、感震ブレーカー（6～1月）の設置費用の一部を助成し、区民の自助対策を支援します。

ア 家具 ・・・件 数：35件 <前年度同>

補助率：重点対策地域	市10分の10<拡充>
対策地域	市10分の5 区10分の4
一般地域	市2分の1 区6分の1

イ ガラス ・・・件 数：20件
補助率：3分の2

ウ 感震ブレーカー ・・・件 数：個人向け200件

補助率：重点対策地域	市10分の10<拡充>
(令和6年度：市10分の5 区10分の4)	
対策地域	市10分の5 区10分の4
その他地域	市10分の5<新規>

- 各種補助事業に係る啓発に使用するチラシの作成や、家庭での防災対策を推進する講演（6/16・区役所・42人）を実施するなど、申請数の向上を図ります。 新規

【共助】

(3) 災害時要援護者支援事業 295万円

- 区保有の要援護者名簿を協定を締結した自治会町内会に提供します。
また、名簿の提供に合わせて啓発物品等を配布し、要援護者への訪問活動等に活用していただることで、顔の見える関係づくりを支援します。（1月）
- 令和6年度に作成した訪問用チラシを増刷します。（12月）

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業 383万8千円 拡充

- 迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄等の物品を購入します。
- 新たに追加した風水害時の避難場所に、避難場所用の消耗品を購入します。
- 風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難指示対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持します。

(5) 地域防災拠点運営強化事業 181万4千円

- 地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理（6～9月）を行い、災害に備えます。
- 地域防災拠点訓練の充実が図れるよう、資機材取扱研修（1月）を実施します。

(6) 災害医療体制強化事業 54万9千円

- ・南区医療救護隊訓練（11月）、南区災害医療連絡会議（12月）を開催します。
- ・医療救護隊の使用する物品を整備します。
- ・南区の災害時の医療体制（緊急度・重症度に応じた受診先の分類等）について、区民向け広報・周知を行います（12月・3月）。

関連する
主な事業

- **感震ブレーカー等設置推進事業【総務局事業】(市合計1億7,750万円)**
 - ・大地震の揺れを感じし自動的に電気供給を遮断する感震ブレーカー等の設置を推進することにより、出火率を低下させ、火災被害の軽減を図ります。
- **家具転倒防止対策助成事業【総務局事業】(市合計3,320万円)**
 - ・高齢者や障害者等のみで構成される世帯に設置助成（取付代行）を行います。
- **災害時要援護者支援事業【健康福祉局事業】(市合計1億7,659万円)**
 - ・災害時に要援護者の安否確認や避難支援等の活動が円滑に行われるよう災害時要援護者名簿の提供をはじめ、地域での自主的な支えあいの取組を支援します。
 - ・福祉避難所について、発災時に要援護者の受入を円滑に進めるための体制を整備します。
 - ・改正災害対策基本法に基づき個別避難計画等の作成支援を進めます。
- **災害時医療体制整備事業 (市合計8,205万円)**
 - ・横浜市防災計画に基づく災害医療体制を充実させるための施策を推進します。
- **災害対策備蓄事業【総務局事業】(市合計9億7,411万4千円)**
 - ・震災直後における物資確保及び道路障害等による物資輸送の困難性を勘案し、市民の安全確保にかかわる食料、水、生活用品、資機材等の備蓄を進めます。

2 脱炭素行動普及啓発事業

471万8千円

〈令和6年度 310万円〉

区政推進課 地域振興課

GREEN×EXPO 2027の機運醸成、放課後キッズクラブ等での普及啓発、緑に触れる機会の創出など、脱炭素への区民の関心を高め行動変容を促す取組を進めます。また、区民利用施設における照明のLED化を進めます。

(1) 脱炭素行動PR事業 371万8千円 拡充

- GREEN×EXPO 2027の機運醸成のため、区民に向けた広報PR等に取り組みます。
また、緑を通じて区民の環境への意識を高めるため、花の種を配布します。
- 楽しみながら脱炭素行動を学べるボードゲームを用いて放課後キッズクラブ等で出前講座を行うとともに、ゲームで学習する内容を中心としたクイズ大会を実施します。
また、映像などを通じて家庭や日常生活でできる脱炭素行動を紹介します。 新規

(2) 区民利用施設の照明設備等改修事業 100万円

- 区民利用施設で環境負荷が軽減できるLED照明設備に改修します。
(7~9月・中村地区センター)

関連する
主な事業

- GREEN×EXPO推進事業 【脱炭素・GREEN×EXPO推進局から再配当】 (500万円)
• GREEN×EXPO 2027への参加等につなげるため、引き続き広報PR・機運醸成に向けた取組を進めます。
- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業 【みどり環境局から再配当】 (152万円)
• 小学校校庭の芝生の維持管理の支援や保育園・幼稚園・小中学校への花の種・苗等の配布を実施します。
- 「Garden Necklace YOKOHAMA 2025」地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業
【みどり環境局から再配当】 (180万円)
• 区内主要施設での緑に親しむ機会の創出や、身近な公園の魅力アップ等を通して、緑や花への関心を高めます。

「安全で安心して暮らせるまちづくり」のために、交通安全対策や防犯活動支援等を行うとともに、地域での意識を高める啓発を実施します。

(1) 交通安全支援事業 211万6千円

拡充

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました（4～6月・17校）。また、地域の交通安全教室等を支援します。
- ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行います。
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施します。（9月）
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室を実施します。（10～3月・9園）
- ・南交通安全協会との協働により、新入学児童へ配付するランドセルカバーを作成します。
- ・中学生・高校生向け自転車交通安全教育を行います。 **新規**

(2) スクールゾーン対策事業 111万6千円

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面標示等の新設・補修（7～3月）をします。また、スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。

(3) 防犯啓発活動 71万6千円

- ・後を絶たない特殊詐欺被害等に対し、警察署や防犯協会などの関係機関と連携して、キャンペーンや地域誌を活用した広報（広報よこはま南区版：10月、タウンニュース：12月）など、幅広い世代を対象とした効果的な啓発を行い、区民の防犯意識を高めます。

(4) 地域防犯活動支援 218万8千円

- ・こどもの安全対策支援として、新入学児童へ子ども110番の家のクリアファイルと防犯ブザーを配布します。（3月）
- ・自治会町内会への防犯物品の配布や、青色防犯パトロール等を行います。

(5) 防犯情報提供等 5万円

- ・安全で安心なまちづくりを推進するため推進連絡会を開催しました。（5月）今後、構成委員間の情報共有をすすめながら、啓発を行います。
- ・登録した区民へ防犯情報等を毎週メール配信します。

関連する
主な事業

- 放置自動車等移動、保管・返還業務【道路局事業】（市合計3億3,138万5千円）
 - ・駅周辺の通行環境の確保等を目的とした放置自転車等の防止対策として、放置自転車等の移動、保管・返還業務とマナーアップの啓発事業を行います。
- 地域防犯活動支援事業【市民局事業】（市合計7,590万円8千円）
 - ・安全安心なまちづくりに向けて、自治会町内会の地域の防犯対策を支援します。地域防犯カメラ設置補助制度を拡充（補助上限額、台数の増）し、地域の見守り強化に繋げます。
- LED防犯灯設置維持管理事業【市民局事業】（市合計6億5,438万7千円）
 - ・地域の安全安心を図るため、市所有のLED防犯灯の不点灯等不具合への対応等の維持管理を行い、電気料金やESCO事業サービス料等を支出します。経年劣化の見受けられる鋼管ポールの点検調査を実施し、今後のポールの安全性向上に繋げます。また、自治会町内会からの申請に基づく新設や付け替えなどを行い、LED防犯灯の適正配置に引き続き取り組みます。
- 地域の防犯力向上緊急対策事業【市民局事業】（市合計6億2,000万円）
 - ・自治会町内会等が地域の防犯力向上に向け実施する、防犯パトロール、防犯啓発グッズ購入、センサーライトの整備、防犯講座の開催といった公益的な取組に対して緊急的な補助を行い、地域防犯の取組を支援します。

4 みなみチャレンジごみ減量事業

338万9千円

<令和6年度 328万9千円>

地域振興課

横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ5.3計画）の削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進します。

(1) 3R推進事業 184万円

- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭等）での啓発活動に加え、2つの重点分野（①プラスチック対策、②食品ロス削減）を啓発するポスターの掲出を行います。
- ・保育園、幼稚園、小学校に訪問して出前講座を行います。
- ・環境事業推進委員を対象とした研修及び地域の取組を共有する会議を開催します。（10月）
- ・神奈川県宅建協会と協働し、単身者向け賃貸住宅の入居者にごみ出しルールを周知します。

(2) 街の美化推進事業 145万4千円

- ・街の美化活動をきっかけに地域の輪を広げていくことを目指して、清掃月間イベントを実施します。（11月）
地域や事業者、学校等それぞれの団体が日頃独自に行っている清掃活動を一緒に行い、街の美化だけではなく多世代交流、健康促進等、横のつながりを持った活動につなげます。
- ・不法投棄排出防止看板等の告知物を作成し、関係機関と連携して区域での啓発を実施します。
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉の時期に、障害者地域作業所へ委託します。
(4月、10～12月)

(3) 南区環境にやさしい街づくり 9万5千円

- ・区推進本部会議、功労者表彰式を実施しました。（5月）

**関連する
主な事業****○ 3R広報啓発事業【資源循環局から再配当】(10万円)**

- ・リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進し、環境負荷を低減するライフスタイルへの転換を図るため、広報・啓発を通じて、市民・事業者の行動変容につなげます。
- ・令和7年4月からプラスチックごみの分別・リサイクル拡大が全市展開されるため、市民の皆様にプラスチックごみの新たな分別の定着につながるよう、引き続き広報啓発を行います。

5 食とくらしの衛生支援事業

102万円

<令和6年度 90万円>
生活衛生課

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行います。また、ペットの飼育マナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発を行います。

(1) 食品衛生知識の普及・衛生支援事業 57万円 拡充

- ・横浜総合高等学校との協働により作成したクリアファイルを、区内小学校で配布(10月・5,000部)することで、若年層及び子育て世代に向けた食品衛生知識の普及啓発を行います。また、南区内の飲食店や高齢者施設等に対しては、リーフレット等を配布して普及啓発を行います。

(2) 動物適正飼育推進事業 36万円 拡充

- ・ペットの飼い主に対し、講演会等によりマナー啓発を実施します。(10/18)
- ・地域防災拠点のペット対策支援のため、拠点運営委員会等で啓発を行います。また、拠点訓練ではペット同行避難訓練の支援を行います。

(3) ねずみ・衛生害虫駆除支援事業 9万円

- ・衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行います。

IV 地域の皆さんとともに歩む区づくり

1 区役所等運営事業

702万4千円

〈令和6年度 650万3千円〉

総務課 税務課 区政推進課 戸籍課 保険年金課

人権啓発講演会や人権啓発研修の実施を通じて、区民及び職員の人権意識の向上を図ります。また、市税の申告時期に身近に相談できる場の提供や、区ホームページからの窓口混雑状況の配信など、区役所利用者の利便性向上を図るほか、来庁者に配慮した庁舎環境を整備します。

(1) 人権啓発推進事業 48万7千円

- ・区民を対象とした人権啓発講演会を実施します。 (12/4・みなみん(南公会堂))
- ・職員向け人権啓発研修を実施します。
- ・職場横断プロジェクトや職員表彰等の取組を通じて、区役所のチーム力向上を図ります。

(2) 区庁舎等環境整備事業 380万7千円

拡充

- ・必要性や緊急度に応じて、庁舎環境及び区民利用施設設備の改善を図ります。
- ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務を行います。

(3) 市税啓発事業 78万円

- ・来庁者が集中し混雑する申告期間に、専門家による申告相談を実施するとともに、要件ごとの窓口にスムーズに案内することで、混乱防止、待ち時間の短縮等、申告体制の充実を図ります。
(2~3月)

(4) 区政推進事業 40万円

- ・南区運営方針の策定や区連絡調整業務等を進めます。

(5) 窓口サービス向上事業 155万円

- ・戸籍課及び保険年金課の窓口混雑緩和のため、混雑状況をリアルタイムに区ホームページに掲載するとともに、メールやLINEでの受付呼出通知サービスを提供します。

関連する
主な事業

- 総合的な空家等対策の推進 管理不足空家等の防止・解消【建築局事業】
(市合計4,351万2千円)
- ・地域などからの情報をもとに、空家の所有者調査や現場調査を委託し、所有者等への指導を効率的かつ的確に実施するとともに、「専門家派遣」や「住宅除却工事費補助」などの支援を通じて自主改善を促します。

2 みなみ多文化共生推進事業

928万3千円

<令和6年度 689万2千円>

地域振興課 区政推進課 こども家庭支援課

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会がともに暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行います。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣、チラシの翻訳を行うほか、ごみ集積場所に掲示するステッカーを多言語で作成する等、適正排出を促進します。

(1) 外国人共生支援事業 225万8千円 拡充

- ・多言語による情報提供・生活相談のほか、弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行います。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳やイベント等への通訳派遣を行います。
- ・外国籍等青少年等の地域・社会での活躍促進のため、日本語ボランティア育成講座(8~2月)や情報交換会(8~10月)、外国籍等青少年の交流事業(7~8月・全5回・8人)を実施します。
- ・生活ガイダンス(10/13・みなみラウンジ)や多文化交流会 (11/1~3・区役所)を実施し、外国人市民が地域とつながる取組を進めます。 新規

(2) 多言語によるごみ適正排出促進事業 20万円

- ・ごみ適正排出促進ステッカー(英語・中国語ほか)などを作成し、ごみ集積場所に掲出します。
- ・多文化共生ラウンジと連携して出前講座を行います。

(3) 多言語による窓口案内事業 169万3千円

- ・来庁者の多い窓口職場にタブレット端末(ICT機器)を設置し、画面を通じた通訳(英語・中國語など、11言語に対応)による案内を行います。
- ・市民通訳ボランティアを区役所窓口へ配置します。
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中國語)をホームページに掲載し、転入者や希望者へURL及び二次元コードが記載されたチラシを配布します。

(4) 多言語による子育て支援事業 210万円 拡充

- ・乳幼児健診に通訳を配置します。(中国語・英語・フィリピン語)
- ・外国籍の家族へ支援をする上で必要な知識に関する講座を区内で子育て支援に関わる支援者と職員に向けて実施します。(9月)
- ・子育ての相談等で区民に提供する資料について、やさしい日本語版等を作成します。

(5) 学校を核にした多文化共生事業 303万2千円 拡充

- ・外国籍等の児童生徒が多い小中学校で、外国人ボランティアによる外国の文化や言葉、スポーツ、遊びなどを紹介するプログラムを実施します。また、保護者や地域の方々が参加できる機会をつくり、地域における多文化理解を推進します。なお、特に外国籍の児童が多い小学校におけるプログラム実施回数を拡充します。
- ・さらに、希望のあった小学校でもプログラムを実施します。
- ・外国人ボランティア向けの研修会を実施します。(日本語、英語、中国語で実施)

関連する
主な事業

○ 外国人材の受け入れ・共生推進【国際局事業】

- ・外国人材の集住が進む寿東部地区等における地域コミュニティの課題解決に向け、国際交流ラウンジにコーディネーターを配置し、機能強化を図ります。
(再配当350万円)
- ・外国語での対応を必要とする来庁者に対し、迅速かつ正確に窓口対応をするため、18区役所にタブレット端末を貸与し、多言語通訳を実施します。

3 地域の力応援事業	300万5千円	<令和6年度 286万円> 地域振興課
<p>地域人材の発掘・育成や地域活動の好事例の発信、また、地域の実情に応じた取組の支援を行うことで、市民主体の地域運営を進めます。</p>		
<p>(1) 地域人材発掘・育成事業 227万円 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区懇談会等で出された地域の課題を深堀りし解決に向けた支援を行うことを目的とする講座（課題解決型寺子屋みなみ）を開催します。 ・南区地域の力応援補助金及びあつたかみなみ活動支援補助金の交付団体、南区地域福祉保健計画推進団体が自らの活動を振り返るとともに、団体間や活動に興味のある方同士で交流する機会を提供するために、南区地域活動発表会・交流会を開催します。 (2/15) ・地域活動の人材づくりをさらに促進できるよう、地域の課題解決に取り組む団体に対し、南区地域の力応援補助金を交付しました。 <ul style="list-style-type: none"> ○交付団体数：5団体（新規2団体、継続3団体） ○補助上限額：1年目15万円、2年目10万円、3年目5万円 ○補助率：寺子屋修了生課題解決コース 10分の9、地域とつながり課題解決コース 10分の7 		
<p>(2) 地域運営支援事業 73万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が自ら課題解決や魅力づくりに取り組めるよう、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。（5～6月・589人） ・地域の団体が行う活動に対する助言や、ICTの活用を支援する専門家等を派遣します。（3団体） ・区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け研修を実施します。 		

4 自治会町内会支援事業	445万5千円	<令和6年度 418万6千円>
地域振興課		

地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配達業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施します。

- (1) **自治会町内会連絡調整事業 236万7千円**
 - ・区等が自治会町内会に依頼する配布物等を各団体が指定する場所に配達します。(8月、12月を除く各月)
- (2) **自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施 123万3千円 <123万3千円>**
 - ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈します。(2月)
 - ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈します。(2月)
- (3) **自治会町内会加入促進及び自治会町内会支援 85万5千円 拡充**
 - ・宅建協会南支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めます。
 - ・若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを配布し、将来の担い手確保につなげます。
 - ・シニア世代に向けて、新たに加入促進の取組を行います。 新規
 - ・連合を超えた役員同士のネットワークづくりのため、南区自治会町内会交流会を実施します。(12月)

関連する
主な事業

○ **地域活動推進費補助金【市民局から再配当】(市合計13億1,613万円)**

- ・自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む市・区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。

※1世帯あたり700円から900円に変更

5 広報事業	237万5千円	<令和6年度 163万1千円>
区政推進課 総務課		

南区役所の案内やバス路線図などの生活に役立つ情報と、地域防災拠点や区内の危険な場所などの防災情報をまとめた「区民生活防災マップ」を作成し、転入者や希望者に窓口等で配布するとともに、ウェブサイトへ掲載します。

また、南区に関する各種統計資料をまとめた統計概要を発行します。

- (1) **広報事業 191万1千円**
 - ・区民生活防災マップを発行し、転入者や希望者へ配布します。
- (2) **統計概要発行事業 46万4千円**
 - ・南区を数値的にわかりやすく紹介した冊子「統計で知る みなみ」を発行します。(3月)

一 区民意識調査事業 【事業終了】

一 円

<令和6年度 250万円>

区政推進課

市の「予算編成のすすめかた」が示されていないため、現時点での考え方をお示しします。

<案>

(3)令和8年度 南区個性ある区づくり推進費の予算編成の考え方について

地域の皆さんとともにつくる 「あったかい南区」



地域のにぎわいを高めるとともに、未来を担う若い世代を支援し、地域とともに活動する仲間を増やしていきながら高齢者を支えていきます。また、区民の安全と安心を守ることで誰もが“つながり”や“あったかさ”を感じられ、ずっと住み続けたいと思える南区をめざします。

地域の皆さんの声を大切に、以下の4つを重点として予算編成に取り組んでまいります。

令和8年度 南区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の重点

にぎわいにあふれ、あったかさを感じられるまちづくり

自治会町内会をはじめとした地域の皆さんと連携しながら、地域のにぎわいやつながりをさらに高め、地域経済の活性化を図ります。また、下町情緒を感じさせる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなど、南区らしさを感じられる魅力を広く区内外に発信します。

子育てしやすく、誰もが住み続けたいまちづくり

南区を子育てしやすいまちにしていくため、相談体制や子どもの居場所づくりなど、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を充実させるとともに、地域ぐるみで子ども・青少年の健全育成に取り組みます。また、ライフステージに合わせた区民の健康づくりや介護予防、障害者支援など様々な取組を進めるとともに、平常時からの見守り等地域の支えあいを支援し、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。

安全で安心して暮らせる、持続可能なまちづくり

自らの身を守る自助力や地域の防災力を高めるための啓発及び支援を実施するとともに、地域防災拠点や関係者・関係団体との連携等により災害への備えを強化するほか、交通安全や防犯対策にも地域と協働で取り組みます。また、グリーン社会の実現に向け、「GREEN×EXPO 2027」開催の機運醸成や、一人ひとりの行動変容を促すPRを進めます。

地域の皆さんとともに歩む区づくり

地域活動に携わる人材の発掘・育成及び自治会町内会の支援に取り組むとともに、外国籍住民等との相互理解を深める取組などを通じて多文化共生のまちづくりを進めます。また、各種広報媒体を通じて区の様々な情報の発信を積極的に行うとともに、区民の皆さんからのご意見を大切にしながら各種施策を進めていきます。